

医療福祉・在宅看取りの 地域創造会議 通信 第9号 (H25/12/27)



平素は、「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」へのご理解・ご協力ありがとうございます。

2013年もあと少し…。毎年のことながら時が経つのを早く感じ、気忙しいこの時期ですね。今回は、年越し蕎麦について少し調べてみました。(ウィキペディア参照)



年越しそばとは、大晦日に縁起を担いで食べる蕎麦で、歳末の日本の風物詩ともなっている、江戸時代には定着した日本の文化であり日本の風習です。年越しそばの由来については諸説ありますが、蕎麦は細く長いことから延命・長寿を願ったものであるとする説と、蕎麦は他の麺類よりも切れやすいためから「今年一年の災厄を断ち切る」という意味で、大みそかの晩の年越し前に食べる蕎麦である(地域差あり)

という説が一般的のようです。2012年現在では、大晦日に年越しそばを食べる人は57.6%にのぼり、文化として深く定着していることがうかがえます。由来にはいろいろな説がありますが、心身を健やかに穏やかな日々を過ごしたいと願うのは、時代や地域や環境が違っても、今も昔も同じですね。皆様が新たな年を、元気に迎えられることをお祈りしております。



2014年も変わらず、「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」のことを、どうぞよろしくお願ひいたします。

第23回ワーキング会議(12/19)

公私ともお忙しい中、初参加の9名の方を含め、35名の方にご参加いただき、有意義な時間をすごさせていただくことができました。

活動紹介では、宗教職の4名の方にお話いただきました。地域創造会議には、さまざまな職種の方々に参画いただいていますが、



看取りを考えるとき、宗教職の方の参画はとても大事だと認識しながらも、機会がもてずにいましたので、今回つながりをもてたことは、大きな一步となりました。今後もいろいろなお話を聞かせていただく機会を設けていきたいと思います。4名の方からお話をいただいた、ほんの一部をご紹介…。



《漢見 覚恵さん》ビハーラの活動は、生きる苦悩への関わりであり、生老病死に関わるのは当然の事。11月から訪問している方とは、何か特別なことをしているわけではなく、ご本人から死への気持ちをお聞きしたり、旧友のような世間話をしているが、表情が和らいでこられた。何か伝えられているとしたら、死を否定しないで生きていこうことを雰囲気に伝わっているのか。10年前母を看取ったが、その時の記憶は「忘れてしまいたい悲しい事」ではなく「忘れない宝物」。看取りはつらいことではあるが、有意義なことで、「死が終わりでないこと」を伝えていきたい。

★★★次第★★★ ☆あいさつ

☆前回の報告・連絡

・「滋賀の医療福祉を守り育てる」県民フォーラムについて
☆ワーキング
・活動紹介

「生活の場(施設・在宅)での看取りへの宗教職のかかわり」

*浄土真宗本願寺派純正寺 住職 漢見 覚恵(あやみ かくえ)さん
*浄土真宗本願寺派蓮光寺 住職 日夏 晓暉(ひなつ こうよう)さん
*浄土真宗本願寺派円徳寺 坊守 藤辺 敏笑(ふじべ としえ)さん
*日本聖公会 牧師 マーレースコットさん



☆意見交換・情報交換



《藤辺 敏笑さん》現在、彦根市立病院(緩和ケア病棟)に、週1回ボランティアとして出向いている。病気の苦しみだけでなく、天涯孤独の苦しみを抱えておられる方が多いように思う。これからも私たちにできることであれば、いろいろなかかわりをしていきたい。



《日夏 晓暉さん》浄土真宗の教え「死もまた生なり」。「往生」とは「往って生まれる」こと。そして仏になって還ってくるという教えである。現在、彦根市のふるさと園(老人ホーム)や能登川の小川(デイサービス)に傾聴ボランティアとして出向いている。医療福祉関係者と宗教職がチームを組んで、苦しみを和らげることができたらと思う。



《マーレースコットさん》ホスピスより依頼がきて、結婚式をさせてもらった。その方は1週間後にお亡くなりになった。でもその場にいたみんなが、とても喜んでおられ、よかったです。



次回ワーキンググループ会議のご案内!

次回は、在宅医療の情報をお届けするラジオ番組

「Are you ready?生き生きエンディングのススメ」

第2回ミニ講座への参加となります。※参加無料(定員50名:先着順)
日 時:1月23日(木)18:30~19:45(開場18:00~)

場 所:滋賀県立男女共同参画センター 視聴覚室

テーマ:「最期まで自分らしく~穏やかなエンディングをめざして~」

内 容:映画「いのちがいちばん輝く日」で紹介されたウォーリズ記念病院のホスピス医細井順さんと彦根市で訪問看護をしながら「花かたばみの会」事務局としてエンディングノートの普及などの活動をしている柴田恵子さんをパネリストに迎え緩和ケア病棟と在宅での療養、人生のエンディングについてトークをしていただきます。また、参加者全員で

エンディングノートを書くミニ体験を行います。

*パネルトーク(コーディネーター・進行) 小野千穂(e-radio パーソナリティ)(パネリスト) 細井順さん・柴田恵子さん

*エンディングノートにチャレンジ!

会員の方には、後日メールでご案内をさせていただきます。

お申込み・お問い合わせは、下記までお願ひいたします。

HP: http://www.e-radio.co.jp/pg_news/are-you-ready/
TEL: 077-527-0830 FAX: 077-527-0840

みなさま!よいおとしを!



ご意見・ご感想等お寄せいただければ

幸いです。

医療福祉・在宅看取りの地域創造会議
運営事務局(滋賀県庁 医療福祉推進課)

TEL: 077-528-3581 FAX: 077-528-4851

E-mail: info@chiikisouzoukaigi-shiga.jp

